

妖怪大戦争 (2005)

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー アクション コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2005/08/06

公開情報 松竹

【キャッチコピー】

愛と平和の大冒険ファンタジー！

魔人・加藤保憲を倒せ!!

人類存亡をかけた世紀の戦いに

少年と百二十万の日本妖怪が立ち上がった。

【解説】

妖怪専門季刊誌『怪』を発行するなど、“妖怪”をこよなく愛する人気作家陣、水木しげる、荒俣宏、京極夏彦、宮部みゆきの4氏がプロデュースチーム「怪」を結成し、68年の妖怪映画「妖怪大戦争」を基に原案を作成、鬼才・三池崇史監督が映画化した痛快冒険ファンタジー。一人の泣き虫少年が、ひょんなことから日本各地の120万の妖怪たちと力を合わせ、人類滅亡を目論む謎の魔人に立ち向かう。主演は「お父さんのバックドロップ」「インストール」の天才子役・神木隆之介。

両親の離婚で、東京から母の故郷、鳥取に移り、母と祖父と3人で新たな暮らしを始めた10歳の少年タダシ。都会育ちのタダシは田舎の生活になかなか馴染めず、当然クラスでも浮いた存在で、いじめっ子の格好の標的となっていた。そんなある日、タダシは神社のお祭りで“麒麟送子”に選ばれる。麒麟送子は大天狗の山の洞窟へ伝説の聖剣を取りに行かなくてはならないのだった。勇気を出して大天狗の山へと入ったタダシだったが、やっぱり怖じ気づいて引き返してしまう。タダシはその途中でネコに似た不思議な生き物に出会い連れ帰る。一方その頃、日本各地では突然子供が消える事件が多発していた。さらにその影では、妖怪たちも何者かによって次々と襲われる異変が起こっていた…。

【クレジット】

監督 三池崇史

製作 黒井和男

プロデュース 水木しげる (プロデュースチーム「怪」)

荒俣宏 (プロデュースチーム「怪」)

京極夏彦 (プロデュースチーム「怪」)

宮部みゆき (プロデュースチーム「怪」)

企画 佐藤直樹

製作総指揮 角川歴彦

プロデューサー 井上文雄

清水俊

企画協力 郡司聡

脚本プロデュース	荒俣宏		
脚本	三池崇史		
	沢村光彦		
	板倉剛彦		
CGIプロデューサー	坂美佐子		
CGIディレクター	太田垣香織		
撮影	山本英夫		
特殊メイク	松井祐一		
美術	佐々木尚		
デザイン	百武朋	(妖怪デザイン)	
	井上淳哉	(妖怪デザイン)	
	竹谷隆之	(妖怪デザイン)	
	葦沢靖	(機怪デザイン)	
造型	松井祐一		
	百武朋		
編集	島村泰司		
音響効果	柴崎憲治		
主題歌	忌野清志郎	『愛を謳おう』	
	井上陽水		
照明	木村匡博		
録音	中村淳		
装飾	西尾共未		
スタントコーディネーター	辻井啓伺		
操演	鳴海聡		
助監督	山本英之		
妖怪キャスティング	京極夏彦		
出演	神木隆之介	稲生タダシ	
	宮迫博之	佐田	(雨上がり決死隊)
	南果歩	稲生陽子	
	成海璃子	稲生タタル	
	佐野史郎	「怪」編集長	
	宮部みゆき	宮部先生	
	大沢在昌	読書好きのホームレス	
	徳井優	駐在	
	板尾創路	アナウンサー	(130R)
	ほんこん	屋台のオヤジ	(130R)
	田中要次	よういちの父	
	永澤俊矢	阿倍晴明	
	津田寛治	大人のタダシ／タダシの父	
	柄本明	牛舎の農夫	
	菅原文太	稲木俊太郎	
	近藤正臣	猩猩	
	高橋真唯	川姫	
	阿部サダヲ	川太郎	

田口浩正	一本だたら	
遠藤憲一	大天狗	
根岸季衣	砂かけ婆	
三輪明日美	ろくろ首	
吉井怜	雪女	
蛭原徹	豆腐小僧	(雨上がり決死隊)
石橋蓮司	大首	
忌野清志郎	ぬらりひょん	
竹中直人	油すまし	
荒俣宏	山ン本五郎佐衛門	
京極夏彦	神ン野悪五郎	
水木しげる	妖怪大翁	
岡村隆史	小豆洗い	(ナインティナイン)
栗山千明	鳥刺し妖女・アギ	
豊川悦司	Etsushi Toyokawa	加藤保憲